

平成18年10月10日

「あだち・荒川土手に桜を植える会」

事務局長 石川 広正

〒120-0034 東京都足立区千住3 - 10

旧マスミ・カメラ店内

謹啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃のご活躍に心から敬意を表します。

さて、私たち「あだち・荒川土手に桜を植える会」は、平成14年12月8日 26名の有志により発足し、満4年を迎えます。お陰様で、会員も470名を要する、足立区最大の「五色桜」を復活する組織に成長致しました。

この間、足立区長様はじめ、各議員さんへの要請、足立区公園課様への要請、国土交通省荒川下流河川事務所の皆さんとも何回か話し合いを持つなど、努力をつづけてきました。今回の足立区様の「パブリック・コメント」の要請を全身で受け止め、以下ご提案申し上げます。

謹白

本会の紹介は、下記ホームページをご覧ください。

<http://adachisakura.com>

パブリック・コメント

募集意見1:【豊かな緑を創るための取り組みについて】

募集意見4:【自由意見】

- 1、 里親制度を活用した、五色桜の「成木」「苗木」の植樹をします。  
植樹場所は、「スーパー堤防」「荒川土手」の可能な地区とします。(新田・鹿浜農業公園周辺・宮城ゆうゆう公園・小台、宮城地区・新田小学校、中学校の植樹、その隣地の都立公園への植樹 等)  
足立区・国土交通省「荒川下流事務所」と足立区内の土手への植樹可能地区について、協議します。
- 2、 植樹費用は、区民及び賛同者が拠出できる運動を提唱します。  
里親の「プレート」を添付します。  
維持・管理は行政と区民及び賛同者の「協働」とします。
- 3、 植樹実施に当たっては、足立区と足立区民・及び賛同者の「協働」作業をします。  
植樹祭りは、足立区との共催とし、広く区民に呼びかける。  
植樹祭りは、PTAを通じ、地域の将来を担う小・中学生にも呼びかける。
- 4、 「世界最大の五色桜」(1910年頃)の存在とその歴史について伝承する。  
足立区に「世界最大の桜並木」が存在し、かつ 住民のカンパで植樹された史実を子ども達に継承する。  
郷土を守ってきた、先人の意志を伝え、郷土愛を育む。  
植樹に参加し、郷土の未来への参加意識を育む。

記念樹としての「五色桜」

「結婚記念日」「子どもの誕生」「両親の命日」「人生への決意」等々、様々な記念日があります。染井よしのの樹齢は60年です。「サトザクラ」の樹齢は、300年です。将来「隅田川」と「荒川」が存在している限り、「記念樹」は後世に引き継がれます。今を生きる足立区民として思うこと、数十年後、曾孫がペットボトルを持って土手に散歩に行きず。「江戸彼岸桜」の根本に水をやっています。「母親が・・・おじいちゃんの さくらだよ・・・」そんな足立区に住みたいと考えます。